



JA長野厚生連安曇総合病院

きずな

第 313 号

発行：〒399-8695
北安曇郡池田町池田 3207-1
TEL(0261)62-3166 (代)
JA長野厚生連安曇総合病院
発行責任者：院長 中川 真一
編集：きずな編集作業部会
<http://www.azumi-ghp.jp/>
印刷：PO 印刷(株)

在院 16 年間の軌跡

今後の発展を願って



安曇総合病院長 中川 真一

物事には始まりがあり、終わりがある。これは世の常である。私はこの3月末で定年まで1年残して早期退職することになった。私が安曇病院に勤務した16年間の振り返り、これまでの病院の成長と今後の希望について述べたい。16年前(平成9年)私は富士見高原病院の井上先生に誘われて、佐久総合病院から当院に副院長として赴任することになった。その大きな理由は、全ての内科医師の平成9年中の退職ということにあった。

私の属する信州大学第3内科の柳沢教授(当時)と医局員の理解を得て、第3内科の全面的な協力の下に、内科の再建を図ることとなった。佐久病院の副院長から前年に赴任されていた佐々木先生の指示の下、もう一人の副院長であった中谷先生とともに、様々な委員会を立ち上げ、組織改革に着手した。平成10年9月外来棟が完成し、MRIも導入された。平成11年4月白馬診療所に下里先生が所長として就

任された。12月白馬診療所で透析を開始。平成12年4月信大放射線科教授曾根先生が、第9代院長として当院へ赴任された。曾根先生により肺がんCT検査が先駆的に進められた。7月大北医師会理事(当時)若林先生と協議を重ねていた第1回地域連携懇話会が始まった。11月8床の増床により一般病床222床となり、同時に療養型病床48床を開設した。平成13年6月リハビリテーション棟が完成。11月当院創立50周年記念事業を

実施し、その一環として病院祭が再開された。平成15年3月新精神科病棟完成。4月新臨床研修制度に伴う臨床研修指定病院となったが、初めての研修医受け入れは平成17年4月からとなった。同じく4月曾根先生に代わり、私が第10代院長に就任した。院長に就任した時に「安曇野ホスピタリティ」というコンセプトを提唱した。これは、安曇野という優れた自然を背景とした中で、暖かさ・優しさ・安心のあるおもてなしを、病院を利用する全員に提供したいという思いを表したものである。6月初めて病院機能評価認定を受けた。平成18年4月初めての後期研修医4名が研修開始。12月メンタルケアセンターあずみ開設。平成19年9月電子カルテ稼働開始。11月院内保育所開設。平成20年4月DPC導入。平成22年2月精神障害者就労支援事業開始(食器洗浄業務)。8月病院再構築検討委員会が設置され、8つの部会による病院機能の検討が始まった。11月国による地域再生基金の当院への交付が決定された(約4億2千万円)。平成24年5月再構築検討委員会の中間報告がまとまり提出された。この中で当院としては、救急、がん、在宅医療を中心に病院機能を組み立てていく方向が示

された。その後の議論の中で、当院としては現状維持的な案が選択され、これを厚生連の理事者が支持した。救急とがんに対して信大との協力を得ながら推進するいわば拡大路線を提唱していた私との運営方針の違いがあり、今回の理事者からの「院長としての名誉ある撤退」申し渡しに至ったと考えている。現在、病院新築委員会の下一般病棟新築に向け、前述の井上先生(本年1月より当院統括院長代行)のアドバイスを心得て強力に推進されている。4月より試行される統括事業所制が順調に推移し、新病棟の完成とともに、この大北地域における医療への安心感の回復につながることを期待している。

平成9年からの16年間で職員数は310人から650人に、医師数は25人から42人に増え、収入は35億から60億に増大した。さらに厳しさを増す医療情勢の中ではこのような成長は望めないかもしれないが、大切なことは「医療人としての信念を貫くことにある」という矜持を心に抱き、地域の医療・保健・福祉に貢献して貰いたいと思う。また地域の皆様方には、これからも当院を支援し育てていただき、そして当院を信頼し期待していただくことをお願いしたい。

定年退職者から

定年退職を迎えて

鈴木 京子

H16年1月に就職したので、9年余り在職したことになる。50歳を超えてからの再就職で持病もあったので、心身共にきつかった。総合病院の精神科が、こうも繁雑で忙しいとは思わなかった。考えが甘かった。しかし、やるしかない家庭事情もあり、後には引けなかった。想い出すと辛いことが多かった。そんな時はいつも自分を奮い立たせて頑張ってきた。どんなに辛くても、辞めようとは思わなかった。働くのは好きで、この仕事は自分が望んでやってきたことだったからだ。

今年で定年。職場を幾つも変えながら、40年近く同じ仕事を続けてこられたのは多くの周りの方に支えられてきたおかげだと感謝の気持ちで一杯。再雇用が決まり、あと何年働けるか分からないが、周囲の方々に迷惑をかけないように心がけ、務めていきたい。

定年退職をむかえて

宮木 明子

幼少の頃から病弱だった私でしたが、恩師の一言により看護師の道を選ぶこととなり、約40年となります。

途中、出産、育児で退職いたしました。安曇総合病院にご縁があり、再就職させていただきました。また、持病があり、退職を考えた時期もありましたが、家族・職場の皆様、大勢の方々に支えられ、定年をむかえることができました。本当にありがとうございます。

心から感謝申し上げます。

定年退職を迎えて

平林 幹張

「病院再構築」を主眼に転職し、3年間勤務させていただきました。伝統を承継した厚生連にあって、安曇診療所からの発足後、六十有余年間の歴史が物語る通り、医療業界に置いて当院が地域に果たしてきた役割の偉大さを感じると共に、そのごく一部に携われた事を幸せに感じております。

在籍中皆様方からのご指導・ご支援に対しまして心中より感謝申し上げます。

再構築を含め、更なる安曇総合病院の発展と皆様方のご多幸・ご健勝をお祈りいたします。

定年退職を迎えて

須沢 吉子

子育てを終えた私は、二十数年間勤務させていただきました。

大勢の方々の支えがあったこと、「ありがとう」のお言葉を励みに、勤めることができ、心より感謝申し上げます。

思えば小学校の頃、学校帰りに、玄関には一本の松があった安曇総合病院の耳鼻科に通った事を思い出します。

地域住民の為、ホスピタリティ豊かな安曇総合病院のますますの発展を御祈願しています。

人生の節目として

矢野口 寛子

人は生きている間に節目をいくつか越えていく。定年もそのひとつであり、私にとっての定年は、自分の人生を振り返る機会である。そこで思うことは、人生というものは自分の思い通りにはいかないが、それでも自分の夢に向かって努力することが人生を彩ってくれるであろうという事。つらい時、苦しい時に努力して得た結果に達成感を感じたこともあり、患者さんとの何気ない会話にほっこりしたこともある。人は人と共に生きていて、そして支えあいながら生きていく……。日頃はあまり考えなかった事柄を思うにつけ、これからの人生もそうでありたいと願っています。

39年間臨床検査技師として勤務させていただきました。皆様に感謝申し上げます。今後は再雇用制度で、節目の後の新たな一步を踏み出そうと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。

定年退職の皆さんお疲れさまでした。

▶ 次回予定

第 31 回地域住民のための健康公開講座

日 時 3月27日(水)
外来棟 1F ホール 18時から

講 師 安曇総合病院 神経内科
医長 林田 研介 先生



地域住民のための健康公開講座が2月28日に行われました。この講座は地域住民の皆さんに疾病についての正しい知識を提供し、また当院がどんな領域に力を入れて診療にあたっているかを知っていただくため、定期的に開かれていくものです。

30回目となる今回は、「望ましい死」について考える「緩和ケアの役割」と題しまして、新生病院緩和ケア科 村上真基先生からお話をいただきました。90名の参加がありました。

公開講座通信

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

4月

2013
April

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24 31	25	26	27	28	29	30

3月

2013
March

色付けしてある日が

全科休診日です

休診日のお知らせ



後機会があれば世界をもっと知りたいと思います。

話が変わりますが、この一年で病院旅行ではカンボジア、新婚旅行ではハワイに行かさせていただきました。思い出は多いため書けません。二カ国に行くと日本の良さ、悪さの両方を感じることができ、自分の中で人間としての改善点も出てきました。今

趣味としては初めてのマウスノードを手に入れて職場の人と何度も滑りにいき腕を磨いています。しかし、学生時代からの趣味であるダーツやサイクリング、など明らかにやる回数が減っています。が(ダーツは場所が少なく、サイクリングは寒さで出ず。)。誰かダーツしましょう。

今後部活では練習を重ねて大会でいい成績を残せるようがんばります。

薬剤師 吉村 雄次郎



冬の寒さから日差しが穏やかになる時期となりました。今年はいよいよインフルエンザやノロウイルスが全国的に流行しました。これからは雪が溶けるようにインフルエンザの警戒心が和らぎ、マスクが防げるのはウイルスではなく花粉に変わる時期となります。今年の花粉の総飛散量は昨年の3〜7倍と予測されていて、全国的に少なかつた昨年より大幅に増える見通しだそうです。しばらくマスクは外せそうにないかもしれませんね。(M・W)

編集後記



▼3月20日 休日緊急当番医
(白馬診療所)

▼3月17日 休日緊急当番医
(本院：内科・外科)

▼2月28日 第30回地域住民のための健康公開講座を開催いたしました



患者さんの権利と責任

『患者さんの権利』

1、最善で安全な医療を平等かつ公平に受ける権利

患者さんは、疾病の種類、社会的立場等に関わらず、良質で安全な医療を平等かつ公平に受ける権利があります。

2、個人として尊重される権利

患者さんは、一人の人間としてその人格・価値観などを尊重され、尊厳をもって接遇されるとともに、自らの意見を述べる権利があります。

3、十分な説明と情報提供を受ける権利

患者さんは、自分の病状、検査と治療方法や危険性、他の治療法、見通しなどについて、理解しやすい言葉や方法で、十分な説明と情報の提供を受ける権利があります。

4、自らの意思で選択・決定する権利

患者さんは、自らの受ける検査や治療方法などについて、説明を受けた上で、自分の意思で選択・決定する権利があります。また、希望しない医療を拒否したり、医療機関を選択したりする権利があります。そのためにカルテを含む診療情報の開示や他の医療機関の医師の意見(セカンド・オピニオン)を求める権利があります。

5、個人の情報やプライバシーが守られる権利

患者さんは、自らの承諾なしに、診療の過程で得られた個人情報(第三者に対し、開示されない権利)があります。また、病院内でのプライバシーが守られる権利があります。

『医療とのパートナーシップ』

良質な医療を実現するために、自らの心身あるいは生活について必要な情報をできるだけ正確にお知らせください。また、納得できるまで質問するなどして自らの疾病や医療内容を十分に理解してください。

2、検査や治療について、納得し同意した方針には賛意を持って取り組んでください。

すべての患者さんが快適な環境で医療を受けられるよう、病院内での規則と病院職員の指示を守るよう協力ください。病院職員による医療提供や、他の患者さんの診療に支障を与えないようご配慮をお願いします。

担 当 医 表

平成 25 年 3 月

		月	火	水	木	金	土
内科	内科（一般） 初 診	岡田光代 芹澤由樹子	東方壮男 塩月記代	川上裕隆 塩月記代	川上裕隆 芹澤由樹子	早野敏英 岡田光代	東方壮男（第1のみ） 早野敏英（第3のみ）
	内科（一般） 再 診 （ 予 約 制 ）	川上裕隆 東方壮男 林田研介	川上裕隆 岡田光代 林田研介 小林信光（信大）	早野敏英 東方壮男 岡田光代 林田研介	早野敏英 林田研介 塩月記代 （午後から診療）	中川真一（予約） （第1・2・4・5のみ） （9時30分～11時） 川上裕隆 林田研介	早野敏英（第1のみ） 岡田光代 林田研介
	循環器内科	東方壮男	池田宇一（信大）	東方壮男	阿部直之（信大）	東方壮男	
	呼吸器内科	岡田光代	小林信光（信大）			花岡正幸（信大） （第1・3・5のみ）	藤本圭作（信大） （第1のみ）
	神経内科	中川真一 （9時30分～10時30分）	中川真一（予約） （第3のみ） （9時30分～10時30分） 林田研介	中川真一 （9時30分～10時30分）	井上憲昭 （9：30～） 林田研介	林田研介	林田研介
	腎臓内科	芹澤由樹子	芹澤由樹子（予約） （午後から診療）		芹澤由樹子 上條祐司（信大）		
	リウマチ・膠原病						信 大
精神科・心療内科	精神科 心療内科 （ 予 約 制 ）	村田志保 中村伸治 樋端佑樹 中村敏範 古屋昌宏 鬼頭 恒（信大）	中村伸治 樋端佑樹（AMのみ） 古屋昌宏（第1・3・5のみ）	村田志保 中村伸治 古田 康 樋端佑樹（第1・2・3のみ） 中村敏範 衛藤高明（第1・3・4・5のみ）	中村伸治（第1・2・3のみ） 長村哲周 樋端佑樹 中村敏範（第1・3・4のみ） 古屋昌宏	村田志保 中村伸治 中村敏範 古屋昌宏	中村伸治 樋端佑樹 古屋昌宏
	認知症診療（予約制）	（輪番）	薛 孝太郎	（輪番）	（輪番）	（輪番）	（輪番）
	在宅支援科（予約制）						
小児科	午前	信 大 原 敏博	保刈 健 （原 敏博）	原 敏博 （保刈 健）	保刈 健 （原 敏博）	原敏博 又は 保刈健	信 大 （原敏博 又は 保刈健）
	午後	特殊診療（予約）	乳児検診（予約）		慢性疾患（予約）	慢性疾患（予約）	
外科	一般外科	佐藤敏行	佐藤敏行	佐藤敏行	久保直樹	久保直樹	久保直樹
	専門診療			信 大（乳腺） （完全予約制）		信 大（甲状腺）	
呼吸器外科		花岡孝臣			花岡孝臣		花岡孝臣
形成外科 （受付15時30分まで）			安永能周（信大） （13時から診療）				
整形外科	新患受付 （受付10時30分まで）	鎌仲貴之 （受付9時30分まで）	狩野修治	柴田俊一	王子嘉人	（輪 番） （診療開始 9 時 30 分 から）	（輪 番）
	予 約	最上祐二 王子嘉人 柴田俊一	谷川浩隆 柴田俊一 鎌仲貴之 高橋淳（信大）	最上祐二 王子嘉人 狩野修治	谷川浩隆 狩野修治 鎌仲貴之	谷川浩隆 最上祐二 畑 幸彦（信大）	
皮膚科		河内繁雄 葭矢裕之	河内繁雄 葭矢裕之	河内繁雄 葭矢裕之 学童診療（15時～17時） 初診（当日）受付16:30まで	河内繁雄 葭矢裕之	河内繁雄 葭矢裕之	河内繁雄 葭矢裕之
泌尿器科		平林直樹	平林直樹	平林直樹	平林直樹	平林直樹	平林直樹
産婦人科		信 大（予約）	曾根原衛雄			信 大（予約）	
眼 科		太田いづみ	今井玲子		太田いづみ・今井玲子 （午後コンタクトレンズ 要予約）	太田いづみ （受付10時まで）	今井玲子
耳鼻咽喉科 （受付16時まで）			信 大 （14時から診療）			信 大 （14時から診療） （第2・4のみ）	信 大
放射線科					信 大		
麻 酔 科 （受付11時まで）		松本正紀	松本正紀	松本正紀	松本正紀	松本正紀	松本正紀
リハビリテーション科		狩野修治	最上祐二 王子嘉人	谷川浩隆 鎌仲貴之	中川真一	柴田俊一	
歯科口腔外科		中嶋 哲 大久保雅基	手 術 日 （急患対応は要相談）	中嶋 哲 大久保雅基	中嶋 哲 大久保雅基	中嶋 哲 大久保雅基	中嶋 哲 大久保雅基